

News Release

2016年12月26日
日立オートモティブシステムズ株式会社

日立リヴァーレが「平成 28 年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会」で準優勝

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)の女子バレーボールチームである日立リヴァーレは、12月25日(日)に大田区総合体育館(東京都大田区)で開催された「平成 28 年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会」のファイナルラウンド決勝戦で久光製薬スプリングスと対戦し、準優勝の栄誉に輝きました。

本大会は、昭和 25 年(1950 年)に初めて開催されて以来、公益財団法人日本バレーボール協会に登録された中学生以上のすべての選手が参加可能な、日本国内における最強のチームを決定する唯一のオープン大会として開催されています。

ファイナルラウンドでは、各都道府県の代表チーム 1 チームを決定する都道府県ラウンドと、都道府県ラウンドを勝ち抜いたチームで全国 9 ブロックに分かれトーナメント戦を行うブロックラウンドを勝ち進んだ 16 チーム及びV・プレミア 8 チームで優勝の座を争いました。

ファイナルラウンド決勝戦では、各セットにおいてリズムを掴みつつも、久光製薬のブロック・サーブに阻まれ、結果3セット連取されストレートで敗れましたが、2014年に開催された平成26年度大会に続き、今回2回目の準優勝となりました。

本大会を通じて、日立リヴァーレに対し、皆様の温かいご声援を頂きましたことに、心より感謝の意を表します。



準優勝に輝いた日立リヴァーレの選手たち
(写真提供: 日立リヴァーレ後援会)

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社: 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容: 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以上